

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における 自転車競技（ロード・レース）コースの誘致に関する要望

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の東京開催が決定され、日一日と準備が進んでおりますこと、稲城市民一同心よりお慶び申し上げます。この東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催は、スポーツの振興のみならず、地域社会の活力及び地域経済の活性化にもつながるものであると大いに期待をしております。これも偏に招致活動にご尽力された皆様方のご努力の賜物であると、敬意を表しますとともに、稲城市としましては、大会成功に向け最大限の努力をしております。

さて、オリンピックの種目の中でも、自転車競技（ロード・レース）につきましては、平成25年の立候補ファイル提出時には、稲城市内を通るコースが設定されており、市内の公道がオリンピックコースとなることを、市民一同大変期待しているものでございます。その後、平成27年12月のIOC総会において、この種目のスタートとゴールが皇居外苑に決定され、いよいよコースの選定に移られていることと存じます。

稲城市内の多摩丘陵を通る公道には、尾根幹線に代表されるような、見晴らしが良く適度にアップダウンのある道や、川崎街道の通称連光寺坂や、ヒルクライムに挑戦できるよみうりV通りなど、多彩な道があり、連日多くの自転車愛好家が訪れ、自転車競技に最適な地理的環境にあることは、周知のものと自負しております。

自転車競技（ロード・レース）のコースが市内を通った暁には、コースを示すモニュメントをはじめとした、カフェやシャワー、更衣室、自転車販売スペース等を備えた自転車愛好家の集まる拠点『サイクルステーション』を後世に残る記念碑として整備してまいりたいと考えております。都心からのアクセスも良く、かつ緑豊かな丘陵地帯である稲城市が、競技の繰り広げられた実績を偉大な歴史に加え、市民にとどまらぬ多くの自動車愛好家から愛される「自転車の街」として発展していくことを希望して止みません。

つきましては、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のコース決定にあたりましては、格別なご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

自転車を愛する市として、市民一同おもてなしの精神をもってオリンピックをお迎えしていく所存でございます。

平成28年5月吉日

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

会長 森 喜 朗 殿

稲城市長 高 橋 勝 浩